

中予地方局産業振興課『普及だより』

令和2年2月発行

地域農業育成室・産地戦略推進室

	〒790-8502	松山市北持田町132番地	tel (089) 909-8761
伊予農業指導班	〒799-3122	伊予市市場127番地1	tel (089) 982-0477
久万高原農業指導班	〒791-1202	上浮穴郡久万高原町入野263番地	tel (0892) 21-0314



伊予柑の超省力栽培を目指して！ ～削減できた時間で、面積拡大して所得向上を～

伊予柑は栽培しやすく一定の収量が見込めるため、中予地域における柑橘経営の基幹品種となっています。その伊予柑の栽培方法を今まで以上に省力化できれば、削減できた時間を新品種等の面積拡大に充てることができ、所得向上が期待できます。

地域農業育成室では、松山市福角町のモデル園で樹形改造、園内道設置、緩効性肥料の利用、収穫・選果方法の改善、ドローン防除を組み合わせた超省力栽培の確立に取り組んでおり、令和元年度実施したドローン防除の実証では、黒点病防除の散布時間は、手散布(1人役)と比べて約1/17(150分→9分、面積16a)となりました。



ドローン防除



園内道の整備



モデル園での技術研修会

革新的技術の導入によるトマトの高収量栽培技術実証

伊予農業指導班では令和元年度、「普及組織先導型革新的技術導入事業」により、伊予市双海町に①フッ素樹脂フィルム、②ヤシガラ培地利用による養液栽培、③細霧冷房などの革新的技術を導入したミニトマトのハウス(504m²)を整備し、10a当たり20t採りを目指した高収量栽培技術の実証に取り組んでいます。

生産者とともに、品種の選定、培地の配合、適切な温湿度と養液管理等について調査・検討を重ねており、技術の確立と合わせて研修の場として活用し、新規就農者等への波及を目指しています。



生産者とハウス内環境の検討



フッ素樹脂フィルムを使用したハウス

漬物加工技術の伝承と商品性の向上を目指して！

久万高原農業指導班では、以前から知名度がある久万高原町の野菜を使った漬物の再興を切り口とし、ワークショップや勉強会を通して、新商品の試作や地域に伝承された漬物加工技術と移住農業者等の新たな感性のマッチングなどによる漬物の商品性向上を支援しています。

また、漬物向け野菜の品種選定や高齢者でも容易に管理できる混作や間作による栽培体系の実証を行い、漬物向け野菜の生産拡大を目指しています。



ワークショップでの漬物試作



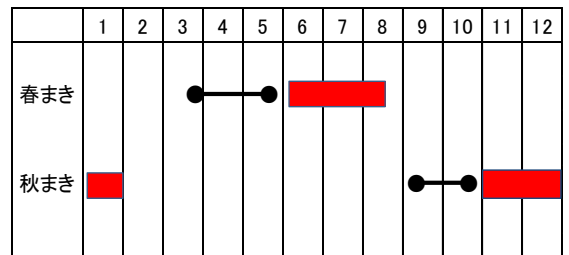
混作による病害虫の低減実証

東温パクチーの産地化に向けた取組みを支援

～パクチーを栽培してみませんか？～

近年のエスニック料理ブームを受け、東温市では若手生産者が中心となって約1haでパクチーの栽培に取り組んでいます。産地戦略推進室では「東温パクチー産地づくり事業」により、周年安定生産技術の実証やパクチーの販路拡大に向けたPR活動など、産地化に向けた取組みを支援しています。

パクチーはセリ科の野菜で、生育適温は18～25℃。露地栽培では、春まき、秋まきが作りやすく、播種後約2か月で収穫できます。小さく不整形な土地でも栽培できますので、パクチー栽培に興味のある方は、当室までご連絡ください。



● は種 ■ 収穫

パクチーの基本的な作型



夏場の高温対策実証



消費者を招いての交流会

“笑顔と情熱”新しい風吹く里 ～住民自治されだに～

【令和元年度豊かなむらづくり全国表彰 農林水産大臣賞受賞】

伊予市中山町佐礼谷の「住民自治されだに」が、令和元年度豊かなむらづくり全国表彰で、栄えある「農林水産大臣賞」を受賞されました。

平成20年の設立以来開催している「ほたる祭り」「きてみん祭」などイベントによる地域住民と都市住民との交流や移住者の受け入れ、また、地元女性グループによる「ゆずこしょう」の商品開発や「犬寄峠の黄色い丘」の景観整備など、住民が一体となった幅広い地域活性化活動が高く評価されました。



中四国農政局での表彰式



佐礼谷産柚子を使った“ゆずこしょう”

“元気の源はトマトづくり！本当の味を久万高原町から ～株式会社FFT(取締役 露口由美子)～

【平成30年度農山漁村女性活躍表彰 優良賞受賞】

久万高原町の株式会社FFT（フォレストリーファーム露口）が、平成30年度農山漁村女性活躍表彰の女性起業・新規事業開拓部門で優良賞（男女共同参画推進協議会長賞）を受賞しました。

株式会社FFTを平成21年に立ち上げた露口由美子さんは、トマトの規格外品に着目し加工事業にチャレンジ、以後、加工場の整備をはじめ、6次産業化による多様な商品開発と販路の拡大に取り組むとともに、女性従業員の雇用や女子大生インターンや研修生を積極的に受け入れるなど、その活躍を通して地域農業の活性化に貢献しています。



表彰を受ける露口さん



女性従業員5名を雇用



研修生の受け入れ

次代を担う新規就農者を応援します！

☆I ターン就農で東温市に新しい風を吹かせる：廣川慎太郎さん（東温市）



廣川慎太郎さん



パクチーの産地化を目指す



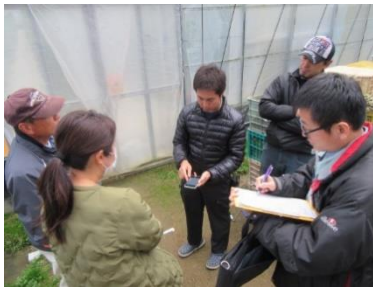
中四国若い農業者の集いで事例発表

経営概要	パクチー80a、ブロッコリー40a、水稲（フリンレスライ）40a、にんにく10a、唐辛子10a等
就農形態	新規参入 平成28年1月就農（出身地：東京都）
これからの夢	パクチーを含め、今後は唐辛子、ハーブ類、水稲の栽培や販売に力を入れ、地域の仲間と共に「エスニックタウン東温」を目指す。

☆農業法人で培った技術で高収益栽培を目指す：武本侑也さん（伊予市）



武本侑也さん



ハウス環境はスマホで確認



地元高校生に就農啓発

経営概要	施設ミニトマト10a、レモン6a、その他野菜
就農形態	Uターン 平成29年6月就農（ベルグアース退社後、JA研修センターで研修）
これからの夢	現在の土耕栽培から養液栽培システムに変更するとともに環境制御装置などを整備し、就農5年以内に20t/10aの生産量と1,000万円の販売額を目指す。

☆夫婦でトマト産地を盛り上げる：上村友範・芽衣子さん（久万高原町）



上村友範・芽衣子夫妻



農業女子ツアーで体験談を語る



仲間とともに産地振興

経営概要	トマト20a、水稲80a
就農形態	新規参入 平成27年4月就農（出身地：友範さん・宮崎県、芽衣子さん・愛媛県）
これからの夢	新規就農者を増やすため、仲間と共に情報共有・イベントなどに取り組み、久万高原トマトのファンを増やし、明るい産地づくりを目指したい。

中島地区における鳥獣害対策の取組み ～「えひめ地域鳥獣管理専門員制度」実践活動より～

地域農業育成室では令和元年度、中島地区の大浦、宇和間、二神集落等において、鳥獣害対策として、イノシシに対する箱わなでの夏場の餌の検討、止め刺しにおける電殺器の利用、匠のくくりわな技術等の実証に取り組んでいます。今後、実証成果については集落内で共有し、狩猟者個々の捕獲技術の向上を図ることとしており、集落ぐるみによる対策の内、捕獲体制の一層の強化が期待されます。

なお、本活動は、同地区を担当する普及指導員が「えひめ地域鳥獣管理専門員制度」の実践活動に位置づけており（令和元年度、中予管内ではJAえひめ中央営農指導員2名を含む3名が受講）、担当する指導員のスキルアップにも繋がっています。



集落点検で出没状況を確認



カラマンダリン粉末を夏場の餌として試作し捕獲実証



押しバネ式くくりわなでの捕獲

傾斜をなくし、次世代につながる樹園地を後世に

中予管内では、「農地中間管理機構関連農地整備事業」による樹園地整備が6地区（松山市下難波、浅海原、由良地区及び砥部町砥部地区など）、約52haで予定されています。その内、樹園地整備では県下初の樹園地整備事例となる下難波地区（7.3ha）は、平成30年度から着工し、令和3年春には一部園地で植栽できる見込みとなっています。

管内の整備地区では、工事完了園地から随時17haの柑橘類のハウス整備が見込まれており、国・県をはじめとする各種事業をフル活用しながら支援することとしています。

園地の緩傾斜化や園内道整備、労力分散を可能にする品種の多様化等により、次世代の担い手が、省力化や高収益を実現できる先進的モデル地区としての整備を目指します。



整備計画について協議（下難波地区）



下難波地区の完成イメージ

愛媛の新しいお米 ‘ひめの凜’ いよいよデビュー

16年の歳月をかけて育成した愛媛オリジナルの新しいお米‘ひめの凜’がデビューし、栽培初年度である令和元年度は、管内で15名の認定栽培者が695aで栽培しました。

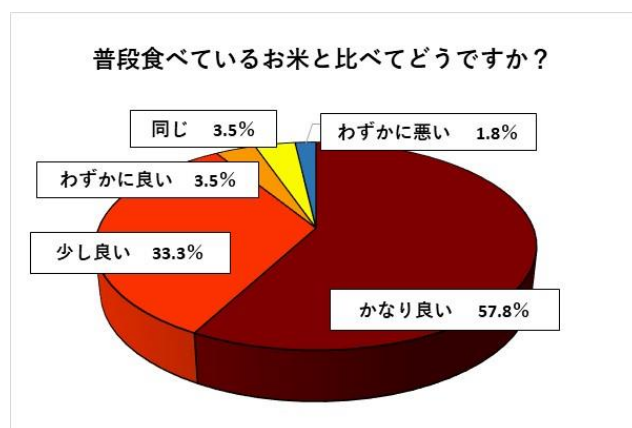
大粒で透き通るように美しく、炊きあがると華やかな香りでツヤツヤ、口にするとしっかりと噛み応えと上品な甘みがあり、地域農業育成室で実施した「食味アンケート」でも、普段食べているお米と比べ、94.6%の人が、「良い」と回答し、高い評価を得ました。

おいしさだけでなく、夏の暑さに強く、収量が多くて栽培しやすいという三拍子揃った品種です。

今後も品質管理を徹底するとともに、「ひめの凜」が生産者・消費者に広く定着するように生産拡大に努めます。



ひめの凜生産者



食味アンケートの結果
(対象者 57名 JA松山市農業祭で実施)

6次産業化の取り組み支援！！ ～地域ビジネスの展開と新たな経営形態の創出～

県では、農業の新たな経営形態を創出するため6次産業化の取り組みを推進しており、「愛媛6次産業化サポートセンター」(テクノプラザ愛媛内)と連携して経営戦略の策定や人材育成、販路開拓等を支援しています。

中予管内では令和元年度、3名の事業者が「6次産業化チャレンジ総合支援事業」の採択を受け、自家農産物を活用した新商品の開発、製造や訴求力のあるパッケージデザインを作製するなど、販路拡大による農業経営の安定的な発展を目指した6次産業化に取り組んでいます。

6次産業化に関心をお持ちの方は、産地戦略推進室までご連絡ください。



6次産業化プランナーによる
経営相談



魅力的な6次産業化商品が続々登場！